

財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）主催・福井県共催

地域再生 特別セミナー

地域再生マネージャーによる『福井県の魅力づくり』

『地域資源を生かした観光まちづくり』

<http://www.furusato-zaidan.or.jp>

講師	平安女学院大学教授 国際観光学部長 ふるさと財団 地域再生マネージャー（石川県七尾市ほか） 総務省 地域情報化アドバイザー	佐藤 喜子光 ^{きしみつ} 高橋 一夫 田澤 由利
司会	福井県総務部市町村課長	柿木 孝勇 ^{かきのき たかお}

開催日時 2009年10月7日（水） 13:30～17:00（開場 13:00）
会場 福井県大会議室 福井県福井市大手3-17-1 福井県庁 本庁舎6階 TEL0776-20-0261
参加費 無料

【セミナー概要】

ふるさと財団では、総務省と連携して平成16年度より「地域再生マネージャー事業」に取り組んでおります。この事業は、外部の専門家（地域再生マネージャー）が3年間にわたって地域課題解決のため、地域住民との協働により、地域の資源の発掘・開発を行うことで地域の再生を図ることを目的としたものであり、全国各地で多くの成果を上げております。本セミナーは、『福井県の魅力づくり』に向けて参考になるとと思われる平安女学院大学佐藤教授と地域再生マネージャー、地域情報化アドバイザーをお招きして事例紹介も交えながら多角的なお話しをしていただく予定です。なお、当財団として県内市町村を対象に、地域再生マネージャーによる短期派遣による簡易な地域診断※を予定しており、当日は事務局より概要を説明させていただきます。是非ご参加いただき地域の魅力づくりを進めていくうえで大きな一助にさせていただきたいと思っております。※ 派遣費・事務費は、ふるさと財団が全額負担します。

【次第】

<第一部>

13:30	開会挨拶	財団法人地域総合整備財団 地域再生部長	荒井 弘正
13:35	総務省挨拶	総務省地域自立応援課 地域振興室長	水野 靖久
13:45	基調講演	「観光静脈を鍛えよう」	佐藤 喜子光 ^{きしみつ}

<第二部>

15:05	地域再生マネージャーによる事例紹介と魅力づくりの視点	高橋 一夫
15:45	地域情報化アドバイザーによる事例紹介と魅力づくりの視点	田澤 由利
16:25	地域再生マネージャー短期派遣事業および財団事業のご案内	事務局
16:45	質疑・意見交換	
17:00	閉会	

セミナー内容等のお問い合わせ先

（財）地域総合整備財団〈ふるさと財団〉地域再生部（担当）西尾 03-3263-5736
e-mail : yoshiyuki.nishio@furusato-zaidan.or.jp

参加申し込みのお問い合わせ先

福井県総務部市町村課 財政グループ（担当）菊地 0776-20-0261

佐藤 ^{きしみつ}喜子光 平安女学院大学教授、 国際観光学部長

北海道出身。京大教 1966 年卒。近畿日本ツーリスト入社、経営企画部専任部長等を経て 1998 年立教大学観光学部観光学科教授、2007 年より現職。観光政策審議会専門委員、国交省旅行業戦略検討委員会座長、観光カリスマ百選選定委員、国際会議誘致連絡協議会会長、日本地域資源学会副会長、他多数歴任。専門は、デスティネーションマーケティング。また観光関連の執筆も多数手掛ける「地旅」提唱の第一人者。



高橋 一夫 流通科学大学サービス産業学部教授

1959 年生まれ。大阪府立大学大学院経済学研究科博士前期課程修了。1983 年 JTB 入社。西日本営業本部営業開発部長、東日本営業本部イベント・コンベンション営業部長、コミュニケーション事業部長を歴任。2006 年 JTB を退社後、T&T (株) 取締役、2007 年より現職。総務省地域再生マネージャー (旧藤原町、唐津市、倉敷市、七尾市)、経済産業省「体験交流観光・集客サービスビジネス化研究会」委員、「観光マーケティング/観光・集客サービス地域 CS 研究会」委員、町田市地域活性化懇談会委員 など。「観桜期の吉野山における交通需要マネジメント」の実践が社団法人日本イベント産業振興会の 2006 年度日本イベント大賞の特別賞を受賞。



田澤 由利 株式会社ワイズスタッフ 代表取締役

1962 年奈良県生まれ。上智大学外国語学部イスパニア語学科卒業。シャープ株式会社入社。結婚・出産によりやむなく退職後、フリーライターとして独立し、SOHO (テレワーカー) として、パソコン関連の書籍や雑誌の執筆を行う。1998 年、インターネット上で会社を運営する「ネットオフィス」を实践するため、北海道北見市にてワイズスタッフを設立。現在、インターネット上で海外を含む全国各地のテレワーカーであるスタッフ約 140 名とともに、50 以上のプロジェクトを同時に運営している。オホーツク地域の観光事業にも積極的に取り組み、地元の観光情報発信サイトの企画・運営を行っている。総務省「地域情報化アドバイザー」、日経地域情報化大賞 2008 日経産業新聞賞受賞。

